

2011 年度
環境活動レポート

2011 年 10 月 1 日

昭和ネームプレート株式会社

環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること
- ② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

- 1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- 2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
- 3. 水資源の節水
- 4. 化学物質を正しく使用し管理する
- 5. 環境関連法規制等の遵守
- 6. グリーン購入の実施

2011年9月30日
昭和ネームプレート株式会社
代表取締役 瀬田 昭男

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネームプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 各種ネームプレート（銘版）の製造・販売
- (6) 事業規模 年間売上 約400百万円（2011年度実績）
従業員 32名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネームプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail kamiya@showa-np.com
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者
代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
管理責任者 資材部部长 神谷丈夫

環境目標とその実績

			2009年度 2008.9 ~ 2009.8 (実績)	2010年度 2009.9 ~ 2010.8 (実績)	2011年度 2010.9 ~ 2011.8 (実績)	2012年度 2011.9 ~ 2012.8 (目標)	2013年度 2012.9 ~ 2013.8 (目標)
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	総量 (kWh / 年)	125414	112225	107931	106852 (1%)	105784 (2%)
	ガスの削減	総量 (ℓ / 年)	64.2	47.9	44.6	44.2 (1%)	46.5 (3%)
	ガソリンの削減	総量 (ℓ / 年)	12076.71	11340.3	11330.26	11216.96 (1%)	11104.8 (2%)
	CO2 の削減 (上記の合計)	総量 (t / 年)	75.594	68.718	67.97	67.29 (1%)	66.62 (2%)
節水	総排水量削減	総量 (m ³ / 年)	823	722	721	714 (1%)	707 (2%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量 (kg / 年)	1202	310.6	256.3	253.7 (1%)	251.1 (2%)
	産業廃棄物の削減	総量 (kg / 年)	7692.4	6108.8	6090.75	6029.8 (1%)	5969.5 (2%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg / 年)	568	289.2	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%

- 1 今期も 2010 年 9 月から 2011 年 8 月までの実績を基に BM を設定した。数値的にはクリア出来ているが、削減率が年々厳しくなりつつあり、今後の活動内容が問われる時期に来ている。
- 2 水道は 2 ヶ月に 1 回の測定
この他に次のことに取り組みます。
 - ・化学物質を正しく使用し管理（棚卸し等）削減にむけて活動する。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2010年9月～2011年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

	取り組み項目	達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減	B.M に対し達成 1%目標に対し1%削減	前期実績を基に活動し目標通りの削減となった。今期も前期実績を基にBM設定するが、今期は非常に厳しくなり活動が問われる時期と言える為、活動内容を見守る。
節水	総排水量の削減	B.M に対しは未達成 1%目標に対し0.1%削減	目標数値に対しクリア出来なかったが、微妙な数値での削減であった。更なる意識を持ち活動する。
廃棄物量の削減	一般廃棄物の削減	B.M に対し達成 1%目標に対し17%削減	目標数値に対し今期もクリア出来た。年々削減数値は下がっているものの、まだ余裕な数値である為継続して活動する。
	産業廃棄物の削減	B.M に対し未達成 1%目標に対し0.2%削減	目標数値に対しクリア出来なかったが、微妙な数値での削減であった。一般廃棄物の殆どが産廃としての扱いの為、数値的に厳しくなる。社内の生産工程上の廃棄物の削減が重要になる。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	今期より、棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理
<p>(総評) 今期はやはり厳しい活動となった事は削減数値にて表れている。項目により差はあるが、殆どの項目が微妙な数値のクリアで削減は出来ているものの、年々厳しく成る事は当然の結果で、これからが活動が問われる時期と成ってくる為、今後、如何なる活動をしていくかを課題として考えるべきである。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 瀬田昭男</p>			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等へのとおり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去5年間にわたって違反や訴訟は1件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 瀬田昭男

管理責任者 神谷丈夫

2011.10.1